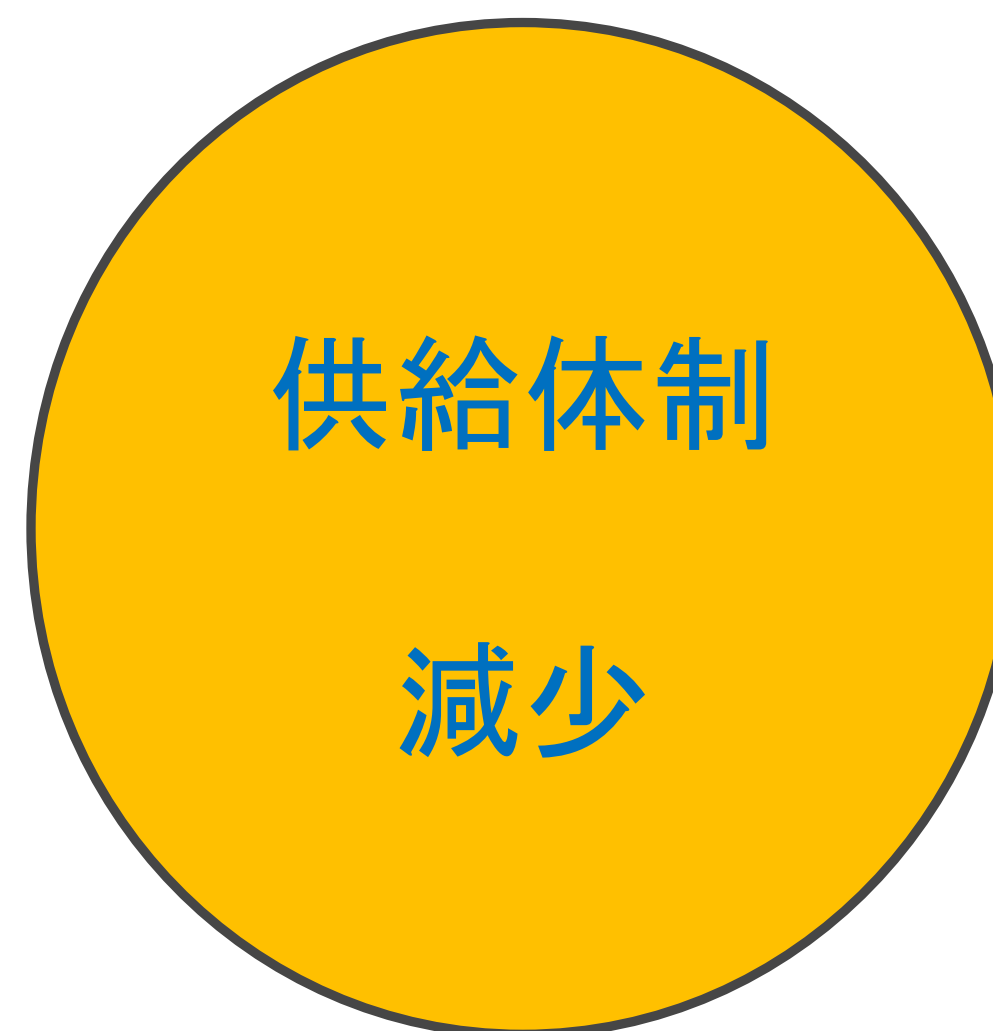


能登半島地震を踏まえた 危機対応施設構想

2024年2月13日 定例記者会見 土谷明男



感染症パンデミックと災害時の類似性



- 医療需要と供給体制のアンバランスが生じる
- アンバランスは簡単に是正できない

サーージキャパシティとしての 危機対応施設



サージキャパシティとしての危機対応施設

- 今後も感染拡大を繰り返す
- 通常医療を確保するために感染拡大時に備えた対応が求められる
- サージキャパシティとしての医療施設
 - ✓ サージ (Surge) うねり、波のように押し寄せる
 - ✓ 瞬間的に増加する医療 (感染症パンデミック、大規模災害)

サージキャパシティとしての危機対応施設

サージキャパシティとしての危機対応施設

- 発生時の速やかな対応

トレーニングセンター

- 感染症や災害対応の訓練

能登半島地震を踏まえた危機対応施設

□目的

- 医療機関の機能維持や補完

□機能

- 被災受傷者のトリアージ
- 軽傷者の初期治療
- 重傷者の後方収容

能登半島地震を踏まえた危機対応施設

□場所：区市町村ごと

- 特別区は区単位 多摩地区は保健所単位
- 廃校やオフィスの空室を転用

□人材：医師会や病院協会から派遣

□マネジメント：行政と医師会の協働

- 平時からの研修や訓練

☞ 新型コロナウイルス感染症における高齢者等医療支援型施設

□ 能登半島地震を踏まえた危機対応施設を提案